2018 年 6 月 26 日【実証試験の概要】3. その他の赤字部分を挿入
平成 30 年 5 月 31 日
九州電力株式会社
一般財団法人 電力中央研究所
日産自動車株式会社
三菱自動車工業株式会社
三菱電機株式会社

電気自動車を電力の需給バランス調整に活用するための実証試験を開始します

－ 再生可能エネルギーに対する新たな調整力として期待 －

九州電力株式会社、一般財団法人 電力中央研究所、日産自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、三菱電機株式会社の５社は、電気自動車（以下、ＥＶ）を電力需給の調整に活用するため、ＥＶから電力系統へ電気を供給するＶ２Ｇ（Vehicle to Grid）技術の実証試験を開始します。

具体的には、通常のＥＶへの充電に加え、ＥＶに蓄電された電力を電力系統に放電することにより、電力の需給調整への活用の可能性を検証するものです。

Ｖ２Ｇは、急速に導入が拡大している太陽光発電等の再生可能エネルギーに対する新たな調整力としての活用が期待されており、低炭素社会の実現に繋がる取り組みとして、本実証試験を実施します。

【実証試験の概要】

１．実証内容

- ｏ Ｖ２Ｇ機能を有する充放電ステーションの構築及び機能検証
- ｏ Ｖ２Ｇシステム（充放電制御量の指令や実績受信等）の構築及び機能検証
- ｏ ＥＶの充放電制御量に関するポテンシャル評価、検証　　など

２．実証期間

- ｏ 平成 30 年６月～

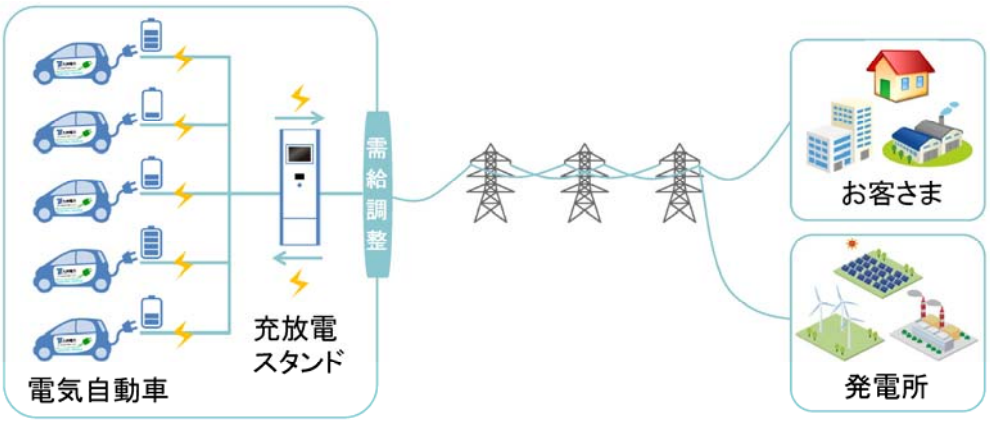
３．そ の 他

- ｏ 本実証試験の一部については、経済産業省資源エネルギー庁の「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント構築実証事業」（以下、ＶＰＰ実証事業）の補助金を受けております。

（執行団体：一般社団法人 環境共創イニシアチブ）

- ｏ なお、日産自動車株式会社はＶＰＰ実証事業に採択されていません。

＜イメージ＞



※国の資料を基に作図